



# あかしや通信

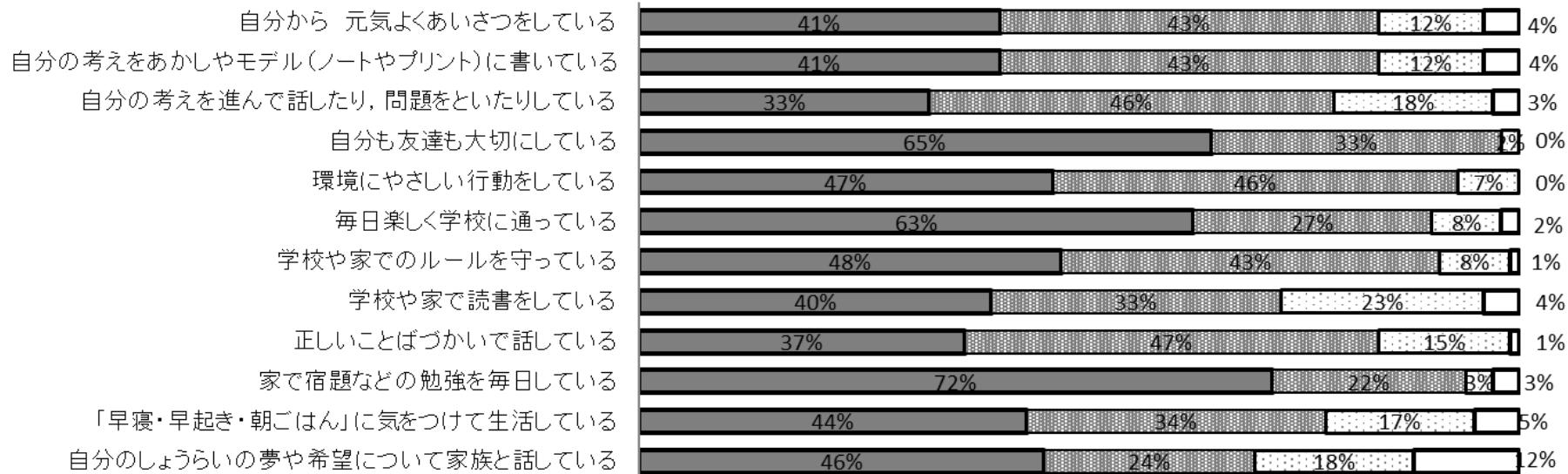
令和 5 年 3 月 20 日

京都市立朱雀第四小学校  
校長 綾野 美晴  
**臣晶時**

平素は、本校あかしや教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。1月に実施しました学校評価アンケートの結果をお知らせします。この結果を踏まえ、今後の学校教育に活かしていきたいと考えております。保護者の皆様には、引き続きご理解・ご協力をいただきますようお願いします。

## 児童アンケート

■よくできている ■だいたいできている □あまりできていない □できていない



## 【児童アンケート結果より】

「環境にやさしい行動をしている」の項目で、約 92%の子どもがよくできている・だいたいできていると答えています。環境教育を継続して取り組んできた成果だと考えられます。しかし、保護者アンケートの「子どもは、環境にやさしい生活を意識している」の項目では、約 66%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答し、約 26%の差があります。学校でも生活科・総合的な学習の時間等を通して取り組んだ環境教育を実生活の場や家庭でも実践できるよう今後も学習活動を進めていきたいと考えております。ご家庭でも、さらに環境にやさしい生活を意識し、自分で考えて行動できるようお声掛けください。

「自分も友達も大切にしている」の項目では、約 98%の子どもがよくできる・だいたいできていると答えています。今後におきましても自分の考えも大切にしつつ、友達の意見など様々な考え方を尊重できる子を育成する人権教育を進めてまいりたいと思います。

「自分から元気よくあいさつをしている」の項目では、よくできている・だいたいできていると答えた子どもが約 84%となり、前回のアンケートと比べて 7%上がっていました。朱雀大路コミュニティ総会（学校運営協議会）でも地域の方々から、「あいさつをする子どもが増えてきている」、「元気な声であいさつを交わすことができて、とてもうれしい」とのご意見をいただきました。あいさつすることで、お互いに一日を気持ちよくスタートできます。よりよい人間関係を築くきっかけにもなるあいさつを自分からできるよう、引き続き学校でも声かけをしていきたいと考えております。

一方で、前回のアンケート結果と比べて、「自分の考えを進んで話したり、問題をといたりしている」、「正しい言葉づかいで話している」、「『早寝・早起き・朝ごはん』に気をつけて生活している」の項目で、よくできる・だいたいできていると答えた割合が減っていることが分かりました。「自分の考えを進んで話したり、問題をといたりしている」の項目では、よくできる・だいたいできていると答えた子どもが約 79%で、前回に比べ約 6 パーセント下がりました。また、「正しい言葉づかいで話している」の項目では、よくできる・だいたいできていると答えた子どもは約 84%（前回は 89%）、「『早寝・早起き・朝ごはん』に気をつけて生活している」の項目では、よくできる・だいたいできていると答えた子どもは約 78%（前回は 86%）という結果でした。

学校では様々な学習活動を設定し、話し合ったり、書いたものを読み合ったり、協働して活動できるよう取り組んでいます。昨年度からは GIGA スクール構想も本格的に進み、一人一台のタブレットを使って、調べ学習や自分の考えを整理したり、プレゼンテーションをしたりするなど一人一人が学習に取り組む姿が見られています。今後もより主体的に学べるように学習形態や方法を工夫して、さらなる学力の定着を目指していきたいと考えております。また、タブレットやスマホなどが普及し、子どもたちが SNS に触れる機会も増えてきています。相手に自分の思い、伝えたいことがしっかりと伝えられるよう、学校でも情報モラル教育をはじめ人権教育（ハートフル学習）を引き続き進めていきたいと思っております。「早寝・早起き・朝ごはん」については、年 2 回の「健康の記録」の取組からも就寝時刻が高学年になるほど遅くなる傾向が分かっています。低学年では 21 時、高学年では 22 時に就寝することを目標に、学校でも保健指導などで呼びかけていきたいと考えております。ご家庭でもお声かけください。

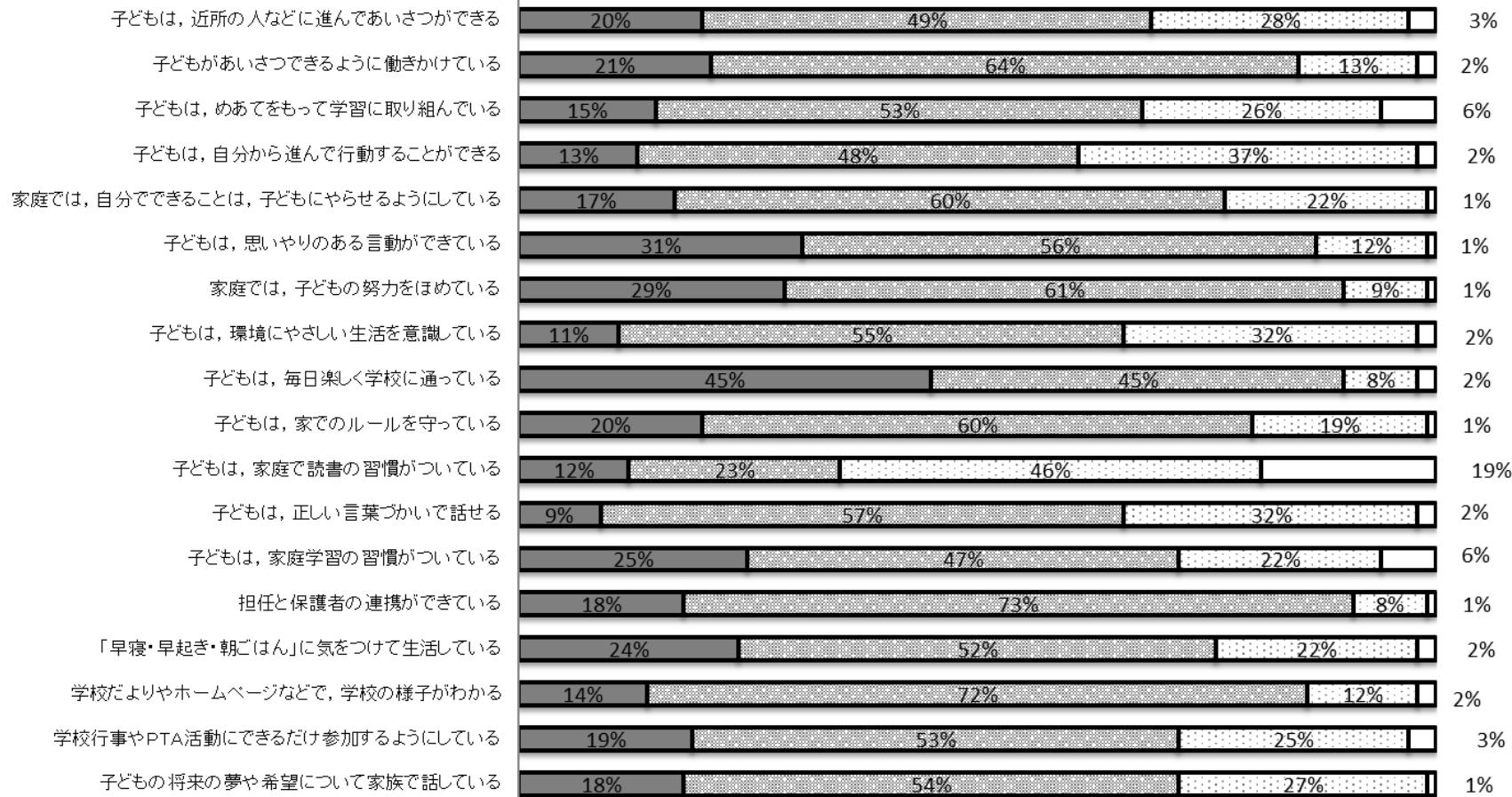
保護者アンケート

■よく出来ている

■大体出来ている

■あまり出来ていない

■出来ていない



## 【保護者アンケート結果より】

「子どもは、めあてをもって学習に取り組んでいる」の項目では、約 68%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答していただいている。学校では、「めあてをもって取り組み、自ら解決方法を考え実行し、考察して次のめあてにつなげる」授業を構築していきたいと考えております。また、「子どもは、家庭で読書の習慣がついている」の項目では、約 35%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答されており、前回より 6 %下回っています。一方、「学校や家で読書をしている」という項目では約 73%の児童がよくできている・だいたいできていると答えてています。学校では朝学習の時間に、毎日読書に取り組んでおり、読書に親しんではいますが、今後も学校図書館を活用し、様々なジャンルの本に慣れ親しめるようにしていきたいと考えております。また、借りた本を家に持ち帰って読むなど、家でも読書をする機会が増えるよう考えていきたいと思っています。

「担任と保護者の連携ができている」の項目では、約 91%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答していただいている。また、「子どもは、毎日楽しく学校に通っている」の項目では、約 90%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答していただいている。「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という本市教育理念のもと職員一同、一丸となって日々の教育活動を進めています。知・徳・体の調和のとれた育成には、学校と家庭との連携が不可欠です。お子さんのことで、気にかかることや不明な点がございましたら、ご遠慮なく学校にご相談ください。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けるために授業方法を工夫し、教育活動を進めてきました。保護者の皆様におかれましては、日々のお子さんの健康管理や本校あかしや教育にご理解いただき、ありがとうございました。来年度におきましても、保護者の皆様や地域の皆様と共に、人にも環境にも優しいあかしや教育を発展させていきたいと考えております。自由記述欄でいただきました意見につきましても、真摯に受け止め、来年度に活かしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。

